

# おもてなしの心学ぶ

## 福島東京五輪教育推進事業

二〇二〇年東京五輪・パラリンピックに向けた教育推進事業「おもてなしの心に学ぶ教室」は十五日、福島市のパルセいいざかで開かれた。

東京五輪の野球、ソフトボール競技が市内の県営あづま球場で開催することを受け、国際社会を見据えた「おもてなしの心」を学び、コミュニケーション能力の向上を図ろうと開催した。国の「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」の推進校の指定を受けている同市の大鳥中の生徒や保護者ら約百二十人

が参加した。

筑波大客員教授で元キャビンアテンダントの江上いずみグロームルマナースプリングス代表が講師を務めた。



江上代表は表情や言葉遣いなど第一印象を高める五原則を紹介。正しいお礼の仕方や身だしなみについても説明した。キャビンアテンダント時代の経験を交えながら、相手の目を見て会話することや物を渡す時の目線の送り方などを実践しながら紹介した。

生徒らは江上代表の説明を真剣に聞き「おもてなし」について理解を深めた。

▲  
江上代表(右)の説明を真剣に聞く生徒ら